

報道機関各位

## 秋田の新旧美術資産 「池田修三作品」展と「模写・佐竹本三十六歌仙絵巻」展

### (1) 池田修三作品展「センチメンタルの青い旗」

あきたアートプロジェクト実行委員会(事務局＝秋田市大町3)は10月18日～26日、にかほ市象潟出身の木版画家・池田修三の作品展を秋田県立美術館(秋田市中通1)で開催します。

秋田県発行のフリーマガジン「のんびり」における大特集をきっかけに、2013年、初の作品集が出版されるや全国で人気沸騰となった池田修三作品。少女や子どもがモチーフの多色刷り版画の代表作をはじめ、初期のモノクロ作品など200点以上を展示する大型展です。

【開催日時】 10月18日(土)～26日(日) 10時～18時

【開催場所】 秋田県立美術館 (1F 県民ギャラリー)

【会期中イベント】

#### (1) センチメンタル宣言～オープン～

- ・10月18日(土) 15時～16時(予定)
- ・入場無料／エリアなかいち特設ステージ
- ・出演: 齋藤一樹(にかほ市象潟町郷土資料館館長)、  
藤本智士(本展プロデューサー、『のんびり』編集長)
- ゲスト: 伊藤綾子(フリーアナウンサー)

#### (2) センチメンタル宣言～クロージング前夜～

- ・10月25日(土) 18時～18時45分(予定)
- ・入場無料／エリアなかいち特設ステージ
- ・出演: 倉本美津留(構成作家、ミュージシャン)、  
藤本智士(本展プロデューサー、『のんびり』編集長)

※国民文化祭ウェルカムステージ

- ・青谷明日香ライブ

1回目＝15時半～、2回目＝18時45分～

※イベントは当日が悪天候の場合、会場を変更する場合があります。

## (2) 模写・佐竹本三十六歌仙絵巻展

江戸時代に秋田藩主だった佐竹家に縁がある水墨画家・佐竹雲遊氏は、切断された佐竹本三十六歌仙絵巻の現状を憂い、切断から百年を迎える前に完全な絵巻の形で複製したいと考えていました。原本と同じ大きさ、同じ顔料による彩色にこだわり、五年の歳月を費やして絵巻は完成し、これを佐竹家縁の秋田において展示公開いたします。あわせて秋田出身の日本画家、土屋秀禾(つちやしゅうか)による模写も展示。三十六の歌と詠み人が、再び絵巻で集います。

※一本13メートル×2巻の絵巻に三十六の詠み人と歌を収める。

佐竹雲遊、土屋秀禾それぞれの絵巻を並べて展示。(13メートル×4巻)

【開催日時】 10月18日(土)～26日(日) 10時～18時

【開催場所】 秋田県立美術館(1F 県民ギャラリー) 入場無料

### 【会期中イベント】

- 特別講演「佐竹本三十六歌仙絵巻について」 主催 三十六歌仙歴史美術愛好会  
10月18日(土)、19日(日)、26日(日) 各日10時30分～  
場所／秋田県立美術館1階 レクチャールーム  
入場無料

### 「あきたアートプロジェクト」とは…

あきたアートプロジェクトは、誰にとっても身近な場所での展示やイベントを通して、アートの裾野を広げ、にぎわいを生み出し、街の魅力を高めていくプロジェクトです。これまで、街を舞台にした多様な表現で地域の特徴を露わにする「あきたまちなかミュージアム」、街の資源を発掘・共有するカリキュラムを組んだ「あきたまちなか大学」といったプログラムで、土地と人、人と人をつないできました。地元商店街、まちづくり団体、秋田公立美術大学、秋田市、秋田県などで組織する実行委員会は、2013年も引き続き官民の垣根を超えた取り組みで、秋田の街という広大なキャンパスに豊かな人の輪を描いていきます。

### <本資料に関する報道機関からのお問い合わせ先>

コラボラトリー／電話:018-866-1559  
秋田市大町3丁目1-12 川反中央ビル1F  
メール:machi-muse@akita-art-project.net  
\*月曜・火曜定休

秋田県観光文化スポーツ部 文化振興課／電話:018-860-1530  
秋田市山王3丁目1-1  
\*土曜・日曜を除く